

第18回

博物館文化祭

—サークル活動展示・発表・実演—

◇展示：平成29年1月14日(土)

～1月22日(日)

時間：9時～17時 入館無料

月曜日休館 会場：特別展示室

◇活動報告会：1月15日(日)

時間：13時～16時30分

会場：博物館講堂 入場自由

参加サークル

天体観察会

古代生活実験室

お囃子研究会

民俗探訪会

聞き書きの会

平塚学講座

展示解説ボランティアの会

相模川の生い立ちを探る会

平塚の古代を学ぶ会

星まつりを調べる会

石仏を調べる会

平塚の空襲と戦災を記録する会

主催：平塚市博物館・第18回博物館文化祭実行委員会

特別展示室のレイアウトと展示タイトル

「学習成果発表」

平塚学講座

聞き書きの会

「記憶をつないで
ができるまで」

石仏を調べる会

「田村・横内地区の石仏」

民俗探訪会

「大山道を歩く・平塚に伝わる俗信」

星まつりを調べる会

「里に降りた星たちを訪ねて」

お囃子研究会

「お囃子研究会の一年」

「相模国庁模型
制作プロジェクト」

「実験考古学」

「私たちがクループが目指すもの」

「榎川の生い立ちを探る会
活動報告」

「博物館と市民の橋渡し」

「私達の一年間の取り組み」

平塚の古代を学ぶ会

古代生活実験室

榎川の生い立ちを探る会

展示解説ボランティアの会

「No.10 榎川(1) 民俗探訪会
の紹介」

民俗探訪会

展示に寄せられた質問にサークル会員がお答えします。

質問掲示板

目次

ごあいさつ.....2

開催に寄せて.....3

【サークル紹介】

天体観察会.....4

展示解説ボランティアの会.....5

相模川の生い立ちを探る会.....6

古代生活実験室.....7

平塚の古代を学ぶ会.....8

お雛子研究会.....9

星まつりを調べる会.....10

民俗探訪会.....11

聞き書きの会.....12

石仏を調べる会.....13

平塚学講座.....14

平塚の空襲と戦災を記録する会...15

博物館の年間会員制サークル.....16

ごあいさつ

住んでいる場所には歴史があります。今から約 400 年前、徳川家康が中原に御殿を建て、そのまわりを囲むように中原御林が植えられました。御林の土地は後に“海軍火薬廠”となり、戦後は平塚市の文化・経済の中心地となっ
ていきます。平塚市博物館はそのなかにあります。博物館の北側にはその歴史をみてきた“ユリの木”が黙して語
らずの姿で見守っています。

地域の未来を切り開く「相模川流域の自然と文化」、地域の再発見のため博物館で活動している多くの市民のサークルの方々の再発見を、年に一度発表する場、それが「博物館文化祭」です。今後も地域の文化の変化を“広く”
“深く”平塚の未来のために。ぜひ、見て・聞いて・参加して頂けると…

また、再発見がひとつつふえるはずです。

平成 29 年 1 月

第 18 回博物館文化祭実行委員会
委員長 室 紘子

開催に寄せて

博物館文化祭にご来場いただき、ありがとうございます。
ます。

平塚市博物館は、活発に行事を開催する博物館として
全国に知られています。中でも市民のみなさまとともに
調査収集をする会員制の行事が、大きな特徴です。

本文化祭は、その各会の成果を、会員の方々の手づく
りて展示いたしました。いまはまだ糸口や断片でも、こ
れらの積み重ねが、やがて大きな特別展や刊行物に実を
結ぶものです。今年も、期待に胸が膨らむ展示内容とな
りました。

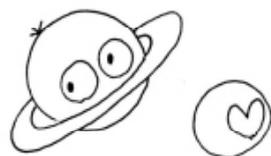
各会の皆様には、たくさんの成果をありがとうございました。
また文化祭実行委員の方々には、開催へのご尽力に深く感謝申し上げます。

私たちは、こうした活動によって、世界に誇れる質量
の地域情報蓄積をめざしています。ご来場のみなさまに
も、お好みの会に参加をご検討いただけましたら、光栄
の至りと存じます。

平成 29 年 1 月

平塚市博物館
館長 澤村 泰彦

天体観察会



天体観察会は1983年に発足しました。会員は初心者からベテランまで、年齢層も中学生から70代まで59名と多彩です。天文学芸員の指導のもと、星空や宇宙に触れるさまざまな活動を楽しんでいます。

【2016年度の活動内容】

- ① 例会：天文学芸員による毎月の星空や最新の宇宙科学情報の解説
博物館屋上での望遠鏡による星空観察
- ② 宿泊観察会：月光天文台（静岡県函南町）での宿泊観測
- ③ 学習会：天文学芸員による天文基礎・最新知識の勉強会
- ④ 博物館が開催する一般向けの観望会「星を見る会」でのサポート など

会員の興味も様々です。ぼんやりと星座を眺めるのが好きな人、天体写真に挑戦する人、望遠鏡の操作を覚えたい人、みんなで楽しく語り合い星を見ています。あなたも参加してみませんか。

なお、活動のお問い合わせや入会の申込みは、天文担当の学芸員までお願いします。





市民と博物館の交流

展示解説ボランティアの会

会の紹介 来館者に歴史品等の解説・案内をするため、平成11年4月に発足し、今年で18年目になります。会員は発足当初からのベテランから、新入会員まで19名(うち女性4名)です。

活動内容 会員は週に1度、複数名で、常設展、特別展などの解説・案内をしています。また、月に2回の定例会では会員相互の情報交換、学芸員による「よもやま話」、「ミニレクチャー」などで勉強をしています。館外研修も実施しています。和気あいあいの楽しい、活気あるグループです。

会員募集中 人との出会い、知的好奇心が楽しめます。資格・条件は要りません。誰でも出来ますのであなたも参加しませんか。

ただいま 会員募集中

申し込みは気軽に御声掛けか、下記に連絡ください。

平塚市立博物館 TEL 0463-33-6111

<http://hirabaku.jp>



解説・ガイド中の様子



館外研修・眞入河口にて

相模川の生い立ちを探る会

大地をつくる地層・鉱物・岩石や、地形などを観察し、その生い立ちや、我々の生活とどのように関わっているのかを考えながら、野山を歩く地学サークルです。会員数は 23 人です。



大正関東地震によって生まれた震生湖を観察する（雨野市今泉）

定例会：野外観察会＋室内報告会 年12回（土曜ないし日曜日）

室内作業：土・日：月2回程度

平日：毎週水曜日

会員募集：市内・市外問わず広く募集中

（入会申込の方は野崎学芸員まで）

～ 古代生活実験室 ～

私たちは、遺跡から発掘された古代の道具を復元し、当時どのような作り方をしていたか、どのような使い方をしていたか、その効果は、どのようなものだったのか等を研究、体験する『実験考古学』のグループです。

あなたも古代人を体験してみませんか！



◎活動日 毎月一回 木曜日 10時～15時

◎場所 博物館 科学教室

◎その他 『子どもフェスタ』にて『火起こし体験』
市内小学校で土器作り、野焼きのお手伝い
夏休み『縄文人になろう』体験学習他

新規会員募集中！

お問い合わせ：担当学芸員栗山雄揮まで

平塚の古代を学ぶ会



国庁模型の完成を目指して製作中です

開催：月1回原則として日曜日

午前10時～正午

入金：随時受け付けています

相模
国庁
模型制作
PROJECT
平塚の古代を学ぶ会



お雑子研究会

民俗芸能(郷土芸能)のひとつであるお雑子。お雑子研究会では、平塚市内はもちろん、県内外の様々なお雑子を聞き比べ研究し、学んでいます。そして、お雑子の成立などに関する資料をひも解きながら、その口承・伝承の裏面をたどり、「故きを温ね、新しきを知る」ということに励んでおります。

また、実技の時間では実際に太鼓を叩いて、地域に継承されている曲などを練習しています。皆様もぜひ「観て聴く人」から「自ら演る人」となって頂けたら嬉しいです。



国際交流フェスティバルに出演

◆実演と体験 【～みんなで叩くお雑子体験会～】

- ・日時/1月14日(土) 15:00~16:30
- ・場所/博物館1F 相模の家～展示

◆定例会・練習日

- 定例会 毎月1回土曜日 16:00~18:30
- 練習日 毎月第2金曜日 17:30~19:00

お雑子にご関心のある方、興味を持たれた方はぜひご参加ください。
雑子や太鼓の経験は問いません。皆様のご参加をお待ちしております。

星まつりを調べる会

☆2017年の博物館文化祭は「星まつりを調べる会」の会員にとって、特別な文化祭となります。「星まつりを調べる会」の“最後の文化祭”になるからです。

☆2004年から2016年までの13年間、会員たちは、澤村先生や“里に降りた星たち”に導かれ、さまざまな活動を重ねてきました。その活動の歩みは、のんびりとしながらも、テーマはユニークで、“歩く・見る・学ぶ”の喜びに満ちたものでした。

☆ということで、13年間の活動の締めまとめとなる今回の文化祭。やはり感慨深いものがありました。毎年の文化祭、もっと気合を入れて取り組んでくればよかったなあ…なんて、“あとの祭り”ですね。

☆さて、ここでお知らせです。

「星まつりを調べる会」の記録集『里に降りた星たちを訪ねて』が今春発行の予定です。

その節は、平塚市博物館でぜひ お手に取ってご覧ください。

(よろしかったら、お買い求めください！)



民俗探訪会

民俗探訪会は、1996年に発足して21年になります。昨年は、「田村通大山道を歩く」をテーマに、往時の道を旅人気分徒歩、神社、仏閣、路傍の石仏、道祖神、史跡等往時に思いをよせ探訪しました。

例年5月の「博物館こどもフェスタ」では、昔のこ

ども遊び・たらいと洗濯板を使い四角石殿での手洗い洗濯、現代文明生活を離れ、非日常の貴重な体験学習は、参加のこども達に大好評でした。

会員数 21

(男10女12)

活動日：原則毎
第三水曜日、野

外 10:00-16:00 館内 13:30-16:00 会員募集中

入会歓迎(申し込みは博物館 遠野学芸員まで)

会は龍光寺の河童館裡と面んど河童



【聞き書きの会】

【聞き書きの会】は、長く平塚にお住まいの方の思い出や、子どもの頃のお話を聞かせて頂き、冊子にまとめ次代へつなぐ活動をしています。

2014年4月に発足し、現在、会員数は6名（男性1名、女性5名）です。平塚についてもっと知りたいと思っている皆さん、聞き手として一緒に話を聞いてみませんか？

博物館より発行

聞き書き集『記憶をつないで』第1集、2015年

聞き書き集『記憶をつないで』第2集、2016年

博物館文化館でご覧いただけます。是非手にとってご覧下さい。

博物館文化館→展示コーナーでは、会の活動をご紹介します。

★ 話し手募集：平塚に50年以上お住まいの方、そして75歳以上の方、あなたの昔の体験を、聞かせていただけませんか？

★ 活動日：定例会・毎月1回（第1金曜日 10時～12時）

博物館特別研究室



聞き取りをしている様子

申し込みは平塚市博物館・浜野学芸員まで。

電話0463-65-5111

石仏を調べる会

市内の寺社や路傍にある石造物のうち、儒佛を目的として建てられたものを調査するため、昭和56年(1981)に22名で活動を始めました。発足以来35年、会員は少しずつ入れ替わってきましたが、現在も補充調査を続けています。



また、毎年秋には市民対象の石仏巡りを行なっています。今年の10月には、田村地区の石仏を見て歩きました。

【会 員】 17名(男性13名、女性4名)

【活動日】 毎月 第4木曜日 9:30~15:30(館内、野外)

【今後の活動】 石仏の学習と会員の親睦を深めながら、市内の石仏調査を継続する。市内の現存石仏「3068基」を収録した『平野の石仏一冊集編一』の作製を目指す。市民対象の「石仏巡り」をおこなう。

平塚学講座

平塚学講座は、平塚の自然と文化について総合的に学び、調べ、私たちが住む平塚のまち、地域に目を向け、地域を考えるための連続講座です。毎年受講生を募集して行う講座で、今年度は、はじめて文化祭に参加します。室内講義や野外講義のほか、自分なりの興味関心で調べた知識を元に、新たな平塚の魅力を発見します。



←民俗分野に関する室内
講義の様子
(博物館 講堂)

→野外講義で土屋周辺を
歩き、地形を観察する
(土屋 遠藤原)



「平塚の空襲と戦災を記録する会」プロフィール

会の名称： 平塚の空襲と戦災を記録する会

会の住所： 平塚市渡間町 12-42 平塚市博物館内 ☎ 0463-33-5111

会長名： 江藤 康

会員数： 登録会員 20 名

会の生い立ち： 1989 年（平成元年）3 月博物館教育普及活動の一環として、主に平塚空襲の聞き取り調査を、市民の方々と実施すべくその協力者を公募した。そして 6 月「平塚の空襲と戦災を記録する会」が市博物館内に誕生した。

発足当初は 12 名の会員で、その年齢も 60～70 代前半の平塚空襲体験者が多く、ほとんど現役を引退した人たちによって構成されていた。

会の目的： 平塚市の近現代史の中で避けては通れない史実としての、平塚空襲にかかわる資料の収集、戦争遺跡の調査、戦没者に関する情報や戦争体験、平塚空襲体験者からの聞き取り調査、写真記録の収集、戦災地図の作成等を行う。

会の目標： 発足当時の目標として

- 例会日を月 1 回必ず開く
- 例会日には必ず 1 人以上の体験者を招き、聞き取り調査を行う
- 聞き取り調査の結果を冊子にまとめ刊行していく

この結果 10 年後の 1998 年 3 月に「市民が探る平塚空襲（証言編）」として、137 人の体験者からの収録と、旧市内地域別で世帯名入りの詳細な地図を、一般市民の方々の協力もあって作成した。現在もこの目標は維持されている。

主な活動：（展示）

- 平塚空襲 50 年、60 年、65 年の 3 回にわたり、空襲特別展を開催
- 毎年 7 月に、市平和事業に合わせ、小規模ながら「平塚空襲展」を開催
- 毎年行われる「博物館まつり」（本年より博物館文化祭に改称）に参加、空襲関係展示を行う

（証言聞き取り）

年間約 8～10 人の証言を収録、都度「炎の証言」に掲載して刊行

現在 14 巻を刊行

（調査・研究）

特に米軍資料の調査・研究を継続して実施

（継承活動）

市内小・中・高校、平塚市、市内企業等での講師として、「平塚空襲」や体験談等の活動

刊行図書： ・市民が探る平塚空襲（証言編）
・市民が探る平塚空襲（資料編一、二、三）
・「炎の証言」第 1 号～17 号

以上（文責 江藤）

博物館の年間会員制サークル

☆平塚市博物館では、いろいろなテーマで、さまざまな行事を行っています。

1年を通して、ともに学び、調べ、考え、活動される多くの皆様方のご参加をお待ちしています。

裏打ちの会

館所蔵の資料の保存を目的とした「文書の裏打ち」作業を行います。

お囃子研究会

いろいろな祭囃子を観て聴いて比べます。リズム遊びでリズム感を磨きます。市内に伝わる囃子太鼓を叩きます。笛と鉦にもチャレンジできます。一生懸命練習し館内外のイベントで演奏します。

聞き書きの会

地域の先輩が語る昔の思い出ばなしに耳を傾け、これを記録し、聞き書き集「記憶をつないで」にまとめます。

古代生活実験室

遺跡からはたくさんの土器・石器などが出土します。それらの用途や機能を再現して、古代人の知恵を学ぶ会です。きっと、新たな発見や驚きがあると思います。こどもたちの参加をまっています。

古文書講読会

館が所蔵する近世の地方文書をテキストに、近世文書の読み方の練習やその時代背景について考察する会です。

相模川の生い立ちを探る会

相模川流域の大地の成り立ちを野外で観察することを目的として、1991年度から活動を続けている地学ハイキングの会です。

石仏を調べる会

平塚市内の信仰目的で建てられた石造物をすべて調べて記録し、地域の庶民信仰を研究する会です。

地域史研究ゼミ

共通史料講読によるグループ研究（ゼミ方式）を通じて、主体的に歴史研究をおこなう力を養います。

展示解説ボランティアの会

展示を見学に来た団体や個人に解説を行なうべくボランティアの会です。学芸員による研修後、週1回の当番日に解説していただきます。

天体観察会

望遠鏡の使い方を実習したり、天体写真の撮り方を学んだり、「星を見る会」の一步先に進みたい人たちが集まって勉強する会です。天文学の勉強会もあります。

東国史跡踏査団

平塚市内外の地域を選んで、現在の地図と明治時代の地図を比較しながら歩き、遺跡の立地や環境を体感します。

平塚の空襲と戦災を記録する会

平塚の戦時下及び平塚空襲に関する資料の収集、戦争及び空襲体験を中心とした聞き取り調査、市内戦災地図の作成、空襲による犠牲者の検証などを中心に活動しています。

平塚の古代を学ぶ会

平塚には数多くの遺跡があります。発掘された遺跡の調査報告書を輪読したり、遺物採集や見学会をとおして、平塚の古代を会員とともに勉強する会です。現在は、相模国庁協殿の模型制作をすすめています。

星まつりを調べる会

湘南、西湖地域を中心に、七夕、お月見と月待ち、神社仏閣の星祭、星にちなむ旧蹟などを調べ、現地を見学します。29年度会員募集はありません。

民俗探訪会

野外を歩いて平塚周辺の民俗文化を調べ学ぶ会です。古道の道筋、祭礼文化の比較、言い習わしや古民謡の調査など幅広いテーマで活動しています。

申込方法（各会共通）

- 29年度の募集は3月号の「あなたと博物館」、広報ひらつか3月第3金曜日発行の案内をご覧ください。
- 各会の活動内容は、博物館のホームページ (<http://www.hirahaku.jp>) をご覧いただくか、お問い合わせください (TEL 0463-33-5111)。
- 往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号と希望する会の名称を記入し、平塚市博物館 (〒254-0041 平塚市浅間町 12-41) へお申込みください。
- お手数ですが、一行事につき一通でお申し込み下さい。

平塚市博物館を拠点に活動する外部サークル

- ・ 神奈川キノコの会
 - ・ 神奈川県植物誌調査会湘南ブロック
- 参加希望の方は博物館へお問い合わせください。

第 18 回 博物館文化祭 実行委員会

委員長	室 紘子	平塚の空襲と戦災を記録する会
	秋山晏子	お囃子研究会
	井上祐次	古代生活実験室
	神谷智子	聞き書きの会
	國友重之	平塚の古代を学ぶ会
	熊沢和幸	相模川の生い立ちを探る会
	澤井健二	古代生活実験室
	杉園佐智子	聞き書きの会
	須藤博	展示解説ボランティアの会
	高橋光江	天体観察会
	棚橋光男	民俗探訪会
	田村壽	星まつりを調べる会
	露木正巳	石仏を調べる会
	露木三恵子	星まつりを調べる会
	長坂紀子	聞き書きの会
	古谷多佳子	相模川の生い立ちを探る会
	森谷幸一	古代生活実験室
	渡辺千秋	民俗探訪会
事務局	早田旅人	博物館学芸担当

第 18 回博物館文化祭－サークル活動展示・発表・実演－ リーフレット

展示：平成 29 年 1 月 14 日（土）～ 1 月 22 日（日）

編集：第 18 回博物館文化祭実行委員会

発行：平塚市博物館

印刷：平塚市総務部行政総務課印刷室

平成 29 年（2017 年）1 月 14 日

平塚市博物館

〒 254-0041 神奈川県平塚市浅間町 12-41

TEL 0463-33-5111 <http://www.hirahaku.jp>

実演 イベント

どのイベントも申込不要、参加費無料です。ふるってご参加ください。

民俗探訪会

とんきよばなし・怪奇ばなし

平塚・須賀の漁村に伝わる棒手振りの頓狂話（おもしろ話）、平塚に伝わるきつねなど怪しく不思議な話

1月14日（土） 午後1時～1時50分

会場：相模の家

お囃子研究会

みんなで叩くお囃子体験会

会員の囃子太鼓演奏の後、参加者の皆さんと一緒にいろいろなリズムで太鼓を叩きます。

1月14日（土） 午後3時～4時30分

会場：相模の家と講堂

天体観察会

太陽黒点観測の実演

望遠鏡で太陽を投影し、黒点を観察します。昼間の金星の観察にもチャレンジ！

1月15日（日） 午前10時～12時

場所：屋上

平塚の空襲と戦災を記録する会

キャッチボールトーク2

未来を担う子ども達と平塚空襲を考える

子ども達が上演する空襲紙芝居や空襲体験者と子ども達とのトーク交流を通して平塚空襲を考えます。

1月22日（日） 午後1時～3時30分

会場：講堂

天体観察会

天体観察会会員による プラネタリウム投影

天体観察会会員3名が、会で学習した成果を活かし、プラネタリウムを投影します。

1月22日（日） 午後3時30分～5時

会場：プラネタリウム室

活動 報告会

1月15日（日）午後1時～ 会場：講堂

サークルの日ごろの活動成果を発表します。

参加：自

13:00	開会あいさつ	室 紘子	博物館文化祭実行委員長
13:10	～信仰と物見遊山～田村通り大山道	宮田光正	石仏を調べる会
13:40	鉄道被害と空襲	末吉菊次郎	平塚の空襲と戦災を記録する会
14:10	平塚の俗信	吉川裕子	民俗探訪会
14:40	休憩		
14:55	学習成果発表	講座受講生	平塚学講座
15:25	おしえて博物館	中村輝夫	展示解説ボランティアの会
15:55	天体観察会研究コース・2年半の歩み	永井和男	天体観察会
16:25	閉会あいさつ	澤村泰彦	博物館長